



山野草 カンアオイ

冬期も葉が緑色をしており、葉の形がアオイ（葵）に似ていることが名の由来です。花は多くの場合、葉に隠れて見えないので、少し葉をかき分けたりします。そうすると地面に接するように、ときに半分埋もれたように、花が現れます。

ニュース **とうめい news** 2022.12.1 Vol.256

〒243-0034 厚木市船子237
TEL. 046-229-3377
発行者:河野 昌史
編集責任者:和田 博貴
印刷:(有)タイム21

ホームページアドレス <http://www.tomei.or.jp/clinic/>

TOPICS

脳梗塞診療のトピックス

脳神経内科:辰野 健太郎

脳神経内科で診療している疾患は、脳血管障害・パーキンソン関連疾患・認知症・てんかん・末梢神経障害・神経免疫疾患・頭痛など様々です。もちろん神経疾患全般を診療していますが、私は特に脳血管障害（脳卒中）を専門に診させていただきます。

脳卒中とは脳血管が「詰まる」「破れる」ことにより脳血流が破綻することで起きる病気です。軽症から重篤なものまで様々ありますが、脳卒中は国内死因の第3位を占め、そのうちの60%が脳梗塞によるものです。

脳梗塞の原因は大きく分けると、3つあります。

① 心原性

多くは心房細動という不整脈が原因で心臓の空洞の中で血流が滞り、血栓が生じます。それが飛散して脳梗塞になります。

② アテローム血栓性

頭蓋内動脈、頸動脈などの血管にアテローム変化を生じ血栓が形成されます。それにより血管が狭窄し、血流が悪くなり、その部位で閉塞することで脳梗塞を起こします。

③ ラクナ(高血圧性)

頭蓋内の小血管が高血圧により閉塞することで脳梗塞となります。

その他の原因として、卵円孔開存症といって、心臓内に動脈側と静脈側が交通する孔が生理的に開いている方が26%程いらっしゃいます。下肢静脈血栓症など静脈側にできた血栓が卵円孔を通過して動脈側に入ることがあり、脳梗塞の原因とな

ります。予防として、抗血栓薬の使用や経皮的卵円孔開存閉鎖術を行うことができます。

原因がわからない潜因性脳梗塞は、16-39%とされています。原因として心房細動が隠れていることが多く、抗血栓薬の使用が議論されています。

また心房細動の検知率を上げるため、植え込み型心電計を留置する方法があり、36ヶ月間の留置で30%（24時間ホルター心電図では3%）と有意な検知率の増加の報告があります。心房細動を検知することができれば適切な薬剤の使用やカテーテルアブレーション手術（*1）による根治術も行うことができます。

また発症して間もない脳梗塞ではtPA静注療法（*2）（点滴）、血栓回収療法（カテーテル手術）にて閉塞血管を再開通させる方法があります。再開通させることにより脳梗塞の範囲を最小限にし、症状の改善に期待できます。発症から6時間から24時間に適応時間の拡大、広範囲脳梗塞への適応など、治療適応も広がってきています。

言葉が出ない、片側の手足が動かさないなどの症状がみられましたら、迅速に救急要請または医療機関へ相談してください。

（*1）カテーテルアブレーション手術

カテーテルを血管から心臓に入れて、不整脈の原因となる電気回路を遮断する手術。

（*2）tPA静注療法

点滴で、詰まった血栓を溶かす治療法。

